

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リソ-教育

コード番号 4714 URL <http://www.tomas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 滋紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長(CFO) (氏名) 久米 正明 TEL 03-5996-3701

四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	6,111	46.7	△203	ー	△161	ー	△167	ー
2021年2月期第1四半期	4,165	△21.2	△1,316	ー	△1,318	ー	△1,036	ー

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 △154百万円(ー%) 2021年2月期第1四半期 △1,045百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	△1.13	ー
2021年2月期第1四半期	△7.16	ー

(注) 2022年2月期第1四半期および2021年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するもの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	12,485	5,016	39.6	33.47
2021年2月期	13,940	6,575	46.7	44.02

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 4,947百万円 2021年2月期 6,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	0.00	0.00	0.00	9.50	9.50
2022年2月期	0.00				
2022年2月期(予想)		0.00	0.00	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	15.1	2,510	148.4	2,500	109.7	1,700	206.2	11.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	156,209,829株	2021年2月期	156,209,829株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	8,396,250株	2021年2月期	8,396,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	147,813,664株	2021年2月期1Q	144,673,185株

(参考) 個別業績の概要

2022年2月期第1四半期の個別業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	3,009	38.0	△351	—	△279	—	△210	—
2021年2月期第1四半期	2,180	△10.7	△877	—	△829	—	△588	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	△1.42	—
2021年2月期第1四半期	△4.07	—

(注) 2022年2月期第1四半期および2021年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するもの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	8,872	3,894	43.1	25.89
2021年2月期	10,056	5,506	54.1	36.79

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 3,826百万円 2021年2月期 5,437百万円

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内においても3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、先行きの不安も含め、今後もある程度厳しい状況で推移していくものと考えております。

学習塾業界におきましても、こうした経済状況や少子化、教育制度改革や大学入試改革、GIGAスクール構想による学校へのICT導入の前倒しなども相まって、取り巻く環境が大きく変わろうとしております。

このような外部環境に対して、少子化を前提としたビジネスモデルの当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としております。

新型コロナウイルス感染症の影響に対しても、子どもたちの教育の場を守るために、当社グループ独自の感染防止策を講じ、安心して通塾できる環境作りに注力してまいりました。そうした取り組みの成果もあり、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ各社の生徒数は前年・前々年同期を上回る水準となっており、学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の導入校も増加するなど、既存事業の業績は順調に推移しております。また、前期より開始した名門会オンライン事業につきましても、お客様から多数の問い合わせをいただいております。当期以降の業績に寄与していくものと考えております。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった新校展開を積極的に行うことに加え、当社、ヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社との3社提携による事業拡充や、株式会社伸芽会とコナミスポーツ株式会社との業務提携による「多彩で豊かな人間性をもった文武両道のバランスのとれた子どもを育む」事業の発展、株式会社スクールTOMASとKDDIまとめてオフィス株式会社との提携による学校へのICT導入でのマーケット拡張など、異業種を含めた他社との提携を積極的に行っていくことで、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

以上の結果、売上高は6,111百万円（前年同期比46.7%増）、営業損失は203百万円（前年同期は営業損失1,316百万円）、経常損失は161百万円（前年同期は経常損失1,318百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は167百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,036百万円）となりました。

当社グループの経営成績は、受験後の卒業等により生徒数が変動することから、新学期スタート時期である第1四半期を底とし、講習会授業を実施する第2・第4四半期に大きく膨らむ季節的な変動要因があるため、第2・第4四半期と比較して、第1・第3四半期の収益性が低くなる傾向にあります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

なお、前年同期におきましては新型コロナウイルス感染症に起因する休校、自粛等の影響により一時的に経営成績が悪化しておりましたが、当第1四半期連結累計期間におきましては、徹底した感染防止策を講じた事業活動等を継続することにより、いずれのセグメントでも前年同期比で経営成績が良化しております。

①TOMAS（トーマス）[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は3,018百万円（前年同期比38.2%増）、内部売上を含むと3,019百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、TOMAS上尾校（埼玉県）、TOMAS大船校（神奈川県）、メディックTOMAS吉祥寺校（東京都）、インターTOMAS田町校（東京都）を新規開校、TOMAS田町校（東京都）を移転リニューアルいたしました。

②名門会 [家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は1,046百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、TOMEIKAI新潟校（新潟県）を新規開校、名門会天神駅前校（福岡県）を移転リニューアル、オンライン事業の拠点として、下北沢オンラインセンター（東京都）を新規設立いたしました。

③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽’Sクラブ（しんが〜ずくらぶ）」の2つのブランドの充実を図り、売上高は1,388百万円（前年同期比68.4%増）、内部売上を含むと1,388百万円（前年同期比68.4%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、伸芽会吉祥寺教室（東京都）、伸芽’Sクラブ学童吉祥寺校（東京都）、伸芽’Sクラブ荻窪校（東京都）を新規開校、伸芽会浦和教室（埼玉県）を移転リニューアルいたしました。

④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は436百万円（前年同期比138.7%増）、内部売上を含むと494百万円（前年同期比104.3%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間におきましては、中高一貫校など10校に新規導入いたしました。

⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は218百万円（前年同期比271.0%増）、内部売上を含むと226百万円（前年同期比254.0%増）となりました。

⑥その他の事業

売上高は3百万円（前年同期比132.7%増）、内部売上を含むと30百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産、無形固定資産、繰延税金資産、敷金及び保証金の増加、現金及び預金、営業未収入金の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,454百万円減少し、12,485百万円となりました。

負債は、前受金、賞与引当金、退職給付に係る負債、資産除去債務の増加、未払法人税等、関係会社整理損失引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して104百万円増加し、7,469百万円となりました。

純資産は、資本剰余金、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して1,559百万円減少し、5,016百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2021年4月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,963,694	2,814,929
営業未収入金	2,454,135	1,574,814
たな卸資産	135,497	151,193
未収還付法人税等	37,672	37,477
その他	438,892	480,735
貸倒引当金	△11,588	△12,978
流動資産合計	7,018,304	5,046,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,953,928	3,197,060
減価償却累計額	△1,413,589	△1,449,965
建物及び構築物（純額）	1,540,339	1,747,094
工具、器具及び備品	1,858,972	1,981,870
減価償却累計額	△701,592	△725,524
工具、器具及び備品（純額）	1,157,379	1,256,345
土地	417,963	417,963
その他	13,668	13,668
減価償却累計額	△13,668	△13,668
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	3,115,682	3,421,403
無形固定資産		
その他	177,485	199,336
無形固定資産合計	177,485	199,336
投資その他の資産		
投資有価証券	124,027	128,516
繰延税金資産	678,891	779,716
敷金及び保証金	2,558,477	2,645,216
その他	273,534	271,524
貸倒引当金	△6,072	△6,072
投資その他の資産合計	3,628,859	3,818,901
固定資産合計	6,922,027	7,439,640
資産合計	13,940,332	12,485,813

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	1,149,166	1,147,313
未払法人税等	422,847	142,800
前受金	1,701,720	1,844,642
返品調整引当金	2,370	2,605
賞与引当金	265,202	472,489
関係会社整理損失引当金	40,529	9,902
資産除去債務	12,565	10,559
その他	1,005,995	988,506
流動負債合計	4,600,399	4,618,819
固定負債		
リース債務	3,895	3,343
退職給付に係る負債	1,681,000	1,733,120
資産除去債務	1,073,012	1,107,799
繰延税金負債	6,783	6,641
固定負債合計	2,764,692	2,850,905
負債合計	7,365,091	7,469,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,890,415	2,890,415
資本剰余金	1,105,307	1,075,953
利益剰余金	4,323,111	2,780,635
自己株式	△1,730,384	△1,730,443
株主資本合計	6,588,450	5,016,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,300	16,415
為替換算調整勘定	△401	△3,160
退職給付に係る調整累計額	△94,780	△82,398
その他の包括利益累計額合計	△81,881	△69,144
新株予約権	68,671	68,671
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,575,240	5,016,088
負債純資産合計	13,940,332	12,485,813

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年5月31日）
売上高	4,165,812	6,111,769
売上原価	4,188,946	4,907,778
売上総利益又は売上総損失（△）	△23,133	1,203,991
販売費及び一般管理費	1,293,452	1,407,008
営業損失（△）	△1,316,586	△203,016
営業外収益		
受取配当金	—	1,931
為替差益	—	3,811
未払配当金除斥益	1,055	1,706
受取補償金	—	6,370
助成金収入	—	25,208
償却債権取立益	716	721
還付加算金	888	20
雑収入	103	122
その他	308	2,845
営業外収益合計	3,073	42,738
営業外費用		
支払利息	1,586	754
為替差損	2,003	—
支払手数料	1,470	—
その他	185	72
営業外費用合計	5,246	826
経常損失（△）	△1,318,759	△161,104
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	—	1,572
その他	2,005	—
特別利益合計	2,005	1,572
特別損失		
固定資産除却損	—	262
移転費用等	—	1,507
その他	—	543
特別損失合計	—	2,312
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,316,754	△161,844
法人税等	△264,721	5,754
四半期純損失（△）	△1,052,033	△167,598
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△15,574	—
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,036,458	△167,598

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年5月31日）
四半期純損失（△）	△1,052,033	△167,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3,114
為替換算調整勘定	488	△2,759
退職給付に係る調整額	6,277	12,381
その他の包括利益合計	6,765	12,736
四半期包括利益	△1,045,267	△154,861
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,045,267	△154,861
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間の業績が順調に推移していることから、今後の当社グループの事業活動に与える新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であると仮定しており、当第1四半期連結累計期間における固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについては、この仮定に基づき行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積りおよび仮定とは異なる可能性があります。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合 宿教育事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,184,060	914,214	824,350	182,854	58,771	4,164,250	1,561	4,165,812	—	4,165,812
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	76	—	330	59,339	5,103	64,849	17,116	81,965	△81,965	—
計	2,184,136	914,214	824,681	242,193	63,874	4,229,100	18,678	4,247,778	△81,965	4,165,812
セグメント損 失(△)	△896,460	△72,993	△151,094	△147,811	△88,230	△1,356,590	3,429	△1,353,161	36,575	△1,316,586

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合 宿教育事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,018,907	1,046,138	1,388,546	436,503	218,038	6,108,134	3,635	6,111,769	—	6,111,769
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	148	—	320	58,273	8,106	66,847	26,992	93,840	△93,840	—
計	3,019,055	1,046,138	1,388,866	494,777	226,144	6,174,982	30,627	6,205,610	△93,840	6,111,769
セグメント利 益又は損失 (△)	△377,258	△52,472	233,253	△76,343	△15,774	△288,595	6,318	△282,276	79,260	△203,016

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。